

第2章 中央本線（甲府―八王子）

第1節 4月29日（土）：甲府～勝沼ぶどう郷

甲府(9:47)～酒折(11:28)～石和温泉(12:45)～春日居町(13:35)～山梨市(14:25)～東山梨(15:20)～塩山(16:30)～勝沼ぶどう郷(17:50)

第168回目のウォーキングは、2006年4月29日（土）みどりの日に実施。父が2006年3月10日（金）に急死してから最初の歩きとなった。色々思案した結果、甲府から八王子までの中央線に挑戦することとする。みどりの日にもかかわらず曇空であったが、ウォーキングとしてはよかった。帰りの電車の中は少し肌寒い感じであった。5時半過ぎに起床し、南林間を7時前の電車で、JR町田駅経由で八王子駅へ。そこから7時52分の高尾行きに乗り、高尾発8時1分の甲府行き電車に乗り換える。途中塩山駅や酒折駅等で特急電車の通過待ちがある。高尾駅から本日の歩き目標の終点である勝沼ぶどう郷駅辺りまでトンネルの連続であった。そこから甲府までは甲府盆地を通り抜けており、歩きも分かりやすい感じであった。



さがみ野桜

甲府駅

甲府駅には9時47分に到着。甲府駅手前で車掌から長野行きと身延線の電車の案内があった。駅前で写真を撮り、フィルムを購入し、いよいよ10時過ぎスタートとなった。甲府駅から目と鼻の先に舞鶴城公園（甲府城跡：10時20分）があった。10分位時間をさき、公園の入口部分に立ち寄る。50日ぶり位の歩きのため。本日予定である21.6Km先の勝沼ぶどう郷駅が凄く遠くに感じた。



舞鶴城公園

長禅寺

それから、10時35分、晴信公幼時修行の道場であった瑞雲山長禅寺（甲府五山）にも立ち寄る。中央線に並走して身延線（JR東海）が途中までであった。金手（かねんて）駅と善光寺駅（11時）が本日のウォーキング沿いにあった。善光寺駅から中央線と身延線に分離する。甲府駅から善光寺駅までは鉄道に沿った道を歩き、その駅から国道140号線を歩く。甲府東高校や山梨学院大学付属の中学校・高校が酒折駅への途中にあった。酒折宮先に酒折駅（11時28分）があった。11時25分、山梨学院大学と同付属幼稚園・小学校を見かける。第四青梅街道踏切（11時34分）を横切りJR線を右手にする。石和温泉駅の手前のラーメン専科（12時5分）に入る。ラーメン専科の手前に夢庵があったが、11時45分頃のためパスした。20分位休み、石和温泉駅を目指す。駅は見えるが、国道140号にはなく、松本踏切を越え、150m引き換えし石和温泉駅に12時45分到着。サティアーが駅前にあった。



「かすがい」という幸せ気分にさせてくれる春日居町駅には13時35分到着。無人駅であったが、駅前には足湯施設があり、団欒の時を過ごしていた家族連もいた。水が殆ど流れていない笛吹川（根津橋）には14時15分到着。この川を越えるや否や山梨市駅（14時25分）があった。駅前には桃の収穫を祝う子供の姿等の銅像があった。



左上：山梨市
左下：ナツツツジ
右：駅前の銅像

それから駅前の花壇にはオレンジとピンクの間の色をした「イロハモミジ」や紅色をした「ナツツツジ」が満開であった。この駅から東山梨駅まで桃園の迷路に入り中々出られず。曾我梅林と同じ感じでセメントの道が続いていた。農家の人が来るべき桃出荷に備え作業をしていた。20分位散策した後やっと抜け出し、東山梨駅には15時20分到着。第一青梅街道踏切で方向性を確認のため、電車が上り下りの確認をする。塩山駅から鉄道がU字型になり方向を変えるからである。本日持参の地図には甲州市はないにもかかわらず、甲州市が登場したので驚いた。それで道に迷ったのではないかの錯覚をしたこともある。恐らく塩山市と勝沼町辺りと合併してできた市であろう。公共施設の至る所で、甲州市と塩山市とが入り混じった看板があった。



塩山駅には16時30分到着。名物ほうとうの看板を至るところで見かける。この駅は樋口一葉縁の駅とあった。道祖神の石碑もあった。実は塩山には高校同窓ハイキング同好会で数年前、大菩薩峠踏破のため来たことがある。しかし、雨のため中止となり、甲府美術館鑑賞に切り替える。勝沼ぶどう郷駅への途中、大菩薩峠への道を見かける。塩山駅から勝沼ぶどう郷駅までJR線は山の裾を走っていた。歩きはJR線より遥かに下の平坦地を歩く。そのためJR線を確認しながら進むことができた。途中、勝沼ぶどう郷駅への案内板を見かけ、左折し急な坂を上る。300m位上るとJR線を頭上に見かける。しかし、駅は

見えず。道路はU字型を描き続いていた。まともに歩くと1Km位あったかも知れない。そこで、民家の庭先で水撒きをしていた人に勝沼ぶどう郷駅への道を尋ねる。ちょっと下った先に軽自動車が通れる位の道がJR線に沿ってあるとのことであった。該当と思われる道路まで行き、確認のため、別の人にも聞く。「真っ直ぐ行った先を右折し、JR線を横切った先に自動販売機があり、そこから鉄道に沿って歩けば駅があります。」とのことであった。この人のご教示通りであった。途中、柴犬らしき犬が寄ってきて、私の通行の許可を求めてくる。OKのサインを出すと一目さんで駆け抜ける。愛犬セブンを飼っているため、多少なりとも犬の気持ちが理解できた。17時50分、やっとのことで勝沼ぶどう郷駅に到着する。



勝沼ぶどう郷駅

甲斐大和駅

5分の待ち合わせで運良く高尾行きに乗れる。下り電車も同時間に来る。次の電車は18時33分であった。トンネルが随所にあることと山間のため、電波が充分に入らず聞き取りにくかったが、巨人＝中日戦を聞きながら帰る。二岡の2塁打で追いつくが、内海の制球が冴えず1対5で負ける。久保が2ランを打たれたのが悔やまれる。しかし、17勝6敗と2位の中日に3ゲーム差をつけている。本日の営業距離は21.6Km、万歩計は51,606歩だった。久しぶりの歩きで疲れたが、充実した一日を送ることができた。

第2節 5月6日（土）：勝沼ぶどう郷～大月

勝沼ぶどうの郷(9:20)～甲府大和(11:10)～笹子(15:37)～初狩(17:12)～大月(18:52)

中央線踏破の第2弾は、先週に引き続き2006年5月6日（土）、勝沼ぶどう郷駅から大月駅までの24.7Kmに挑戦する。実際には笹子峠越えの歩きのため、35kmは歩いたような気がする。何もなければ、天気にも恵まれたので、5月3日（水）～5月4日（金）の間に挑戦したかった。しかし、桑島先輩の葬儀や長男夫婦との食事会があったため、本日となった。5時半に起床し、南林間駅6時40分、JR町田駅6時58分で八王子駅へ。八王子駅からは7時38分の電車で高尾駅へ。この電車は河口湖行きに接続していた。車庫にあった甲府行き（6両編成）は8時1分のため数分高尾駅で待ち合わせる。本日は、大月駅から勝沼ぶどう郷駅まで車内から本日の道筋を注意深く見る。大月駅から笹子駅までは国道20号線

に沿って鉄道があった。笹子駅から勝沼ぶどう郷駅まではトンネル絡みであった。本日の目玉は何と言っても笹子峠越えである。



9時20分、勝沼ぶどう郷駅に到着。大善寺がらみでぶどう園がある遊歩道を歩く。ぶどう園では、ぶどうの新芽の手当てをしている農家の人を多数見かける。勝沼は山の斜面を利用して広大なぶどう園が広がっていた。10時7分、深沢入口の交差点（柏尾）の近郊には、近藤勇之像と異常気象時交通規制区間起点があった。10時25分、30m位の観音隧道と対面。しかし、右側にまわり道があったため、トンネル内の歩きは回避できた。10時45分、異常気象時交通規制区間の終点に到達。10時52分、日川立合橋、それから日川大和歩道橋を渡り、甲斐大和駅（11時10分）に到達。途中、笹子峠越えのために歩く甲州街道の交差点である大和橋西詰の他、甲州市立大和小学校や諏訪神社があった。駅か国道20号から少し上った先にあった。5分位、甲斐大和駅から大和橋西詰（11時20分）まで引き返し笹子峠越えに挑戦する。これから笹子川に絡む橋を多数通過することになる。まず皮切りは駒飼橋（11時25分）、それから天狗橋（11時45分）。中央自動車道が頭上にあった。暫くは民家があったが、いつの間にか民家なくなる。峠越えの大持沢橋を12時15分通過。道路も中央線のない5m～6m位の幅であった。3時間半かけて歩いた甲州街道で、車やバイクに数十台接した。また、歩行者に2名、自転車には数台接した。それ故、静寂の中で踏破した。桜が散っていた。3分散りぐらいか。12時22分、甲州道中桃の木茶屋跡を通過。峠越えして、13時10分、甘酒茶屋跡を通過。この近郊でペットボトルの残りが僅かになる。甘酒を聞くと咽の渴きに拍車がかかる。



矢立の杉

笹子駅

13時20分、笹子峠に到着する。3人組の自転車乗りの若者が屋根のある休憩所で峠からの景色を楽しんでいた。私が着くや否や若者は出発する。峠には笹子峠周辺の地図があった。そこから100m位行った先に、300m位続く笹子隧道（13時22分）があった。ここから大和村から大月市となる。隧道内は3m位の道幅で真っ暗であった。200m位行った先で、2台の乗用車と対面する。この世からあの世へのトンネルのようにも思えた。桑島先輩の本葬の儀が、本日14時から香川県で執り行われている。先輩の霊が私の前に現れ最後の別れを告げに来たような気がした。先輩には高松一高会やわいわい会等を通じ、人や健康へ気配りをはじめ色々人生哲学を教えて頂いた。特に印象に残っているのは歌の心である。ゆっくり休んで頂きたい。小湊鉄道の飯給（いたぶ）駅踏破の際にもトンネルを通過するのに足が震えた。今回も同じような体験をした。自分が霊界にあたかも入っているような感じがした。5月3日、谷本さんを見かけたような気がしたが、後で確認したところ私の錯覚であった。桜吹雪は桑島先輩が私に別れを告げているような気がした。13時45分、伐採が激しい箇所差し掛かった時、ナップサックを抱えた45歳位の男性と対面する。13時55分、「矢立て杉」がある笹子峠自然遊歩道に差し掛かる。14時5分、何も持っていない通行人と対面する。お互いに挨拶する。14時40分、民家が見えるようになる。連休を利用して田植えしたばかりの水田を多く見かける。父が今年3月10日（金）に他界していなければ、5月4日か5日あたりに香川の方で田植えしていたであろう。そのため、父が生きていれば、桑島先輩の本葬には参列できたが、通夜や告別式には参列できなかった。この時ほど神秘的な時空間を感じたことはない。14時47分、山口橋を通過し、国道20号に14時50分合流する。中橋のある道路には笹子峠への道路標識があった。

14時55分、咽の渇きと空腹を癒すため、ファミリーマートに入る。私がコンビニを出るや否や、下山したばかりの10名位の登山姿のグループを見かける。富士急バス停（公民館前）の近くで勢いよく泳ぐ拾数匹の鯉のぼりの姿を見る。最近、子供の数が少ないのか鯉のぼりを余り見かけない。少しほっとした気分させてくれた。15時20分、道路の下方面にJR線を見つける。黒野田橋を15時25分通過。15時37分、頭上にJR線を見るや否や、笹子駅があった。道路から駅までの通路は狭く、バスの通行は厳しい道幅だった。駅前には明治29年から35年かけて開通された笹子隧道記念碑があり、全長は4,656mで当事東洋

一のトンネルの長さの説明があった。笹子川の絡む笹子川橋（15時47分）、船石橋（16時37分）通過。それから宮川を越え、国道20号から200m位入った先に初狩駅（17時12分）があった。初狩駅の手前で空腹を覚えたので、セブンイレブン（大月初狩町店：16時54分）に入る。この駅は昨年、諏訪湖一周のウォーキングの帰り道、千葉方面の地震で数十分止まったので記憶のある駅であった。駅前には初狩郵便局もあった。笹子辺りから天気は晴から曇になった。笹子から大月にかけて、国道20号とJR線が縄のように右に行ったり左に行ったりしていた。笹子川が絡む橋がまだまだ続いていた。法雲寺橋（17時25分）、初月橋（17時45分）、真木橋（17時53分）がそうであった。初月橋を越えと、大月市初狩町から大月市大月町となる。大月警察署前を18時3分通過し、大きな橋を渡り二つ目の信号を道なりに行くと大月駅（18時52分）があった。左側には富士急大月駅があった。外房線の大原駅と同じような状態であった。つまり、富士急鉄道がいすみ鉄道と同じような位置づけであった。18時58分の高尾行きで自宅に向かう。空腹でビールを一気飲みしたため、酔っ払い、よい醒ましのため西八王子駅で途中下車する。悪いことに、横浜線も成瀬まで乗り過ごし、自宅には21時40分となる。本日の万歩計は71,566歩だった。笹子峠越えの甲州街道（国道212）は、山登りや神秘的な霊界との出会いもあり、これまでのウォーキングとは一味異なる経験ができ、最高の気分を味わうことができた。



初狩駅

大月駅

第3節 6月17日（土）：大月～高尾

大月(8:20)～猿橋(9:00)～鳥沢(10:03)～梁川（やながわ、11:08）～四方津(12:00)
～上野原(13:50)～藤野(15:20)～相模湖(16:35)～高尾(20:00)

甲府から高尾までの締めは、2006年6月17日（土）実施。朝4時頃目が覚め、30分間位仮眠してからウォーキングの準備をする。南林間駅6時19分、JR町田駅6時39分で八王子駅を目指す。八王子からは中央線で高尾まで行き、そこから小淵沢行きの普通列車に乗り継いで大月駅へ。大月駅には8時20分頃到着。本日は昨日、父親の遺産の件で高校の先輩の弁護士と相談・懇親した関係で、眠り眼で高尾＝大月間電車の中を過ごす。

大月駅は勝沼ぶどう郷駅からと河口湖駅から歩いた関係で、駅前の地理関係は理解を深めていた。この駅でセイラー服姿の女子高校生がこの駅で降りた。恐らく駅前から少し先の都留高校等に行くのであろう。駅前のさつき通商店街を通り抜け猿橋駅を目指す。この商店街のところに、岩殿山登山口の案内があった。本日は甲州街道である国道 20 号線を軸に歩く。JR 線と縄を編むが如く、甲州街道が続いていた。8 時 55 分、JR 線を跨る殿上橋を通過する。道路標識で八王子まで 47Km、上野原まで 17Km とあった。この橋から猿橋駅が見えた。道路から階段を使用して 15m 位下の JR 線に沿った道路まで降りる。猿橋駅には 9 時到着。猿がつく駅名は銚子駅近郊の「猿田駅」に続いて 2 度目である。この駅前で九鬼山に登るケーブルカーを偶然にもカメラに収めることができた。甲府方面に向かい特急電車が通過して行く。駅前には登山客の姿もあった。それから都留信用組合猿橋支店もあった。9 時 25 分、桂川を跨る新猿橋を通過。橋は 50m 位あり、本日で一番長い橋であった。この橋からの景観はなかなかのものだった。この橋を渡った先に大月市立猿橋中学校が坂を少し上がった先にあった。宮谷橋 9 時 35 分を通過。



猿橋駅

鳥沢駅

鳥沢のはいった図柄のある遊歩道を通り、鳥沢駅には 10 時 3 分到着。駅は瓦葺で白地の看板に黒字で鳥沢駅とあった。昔風の駅舎で本日踏破した中で印象深く残る駅だった。ここでも登山姿の乗客を多数見かける。この駅にも都留信用組合の店舗があった。猿橋駅と鳥沢駅は甲州街道に対し南側あった。10 時 15 分、道路の下を通り抜け甲州街道の進行方向に対し、右側から左側となる。この近郊で黒く熟した桑の実に出会い 3 房頬張る。とても美味しかった。私が幼少の頃はよく口にしたものである。確か八高線踏破の際にも口に似たような気がする。本年 5 月 2 日他界した桑島先輩が私の目の前に出てきて励ましの言葉をかけてくれたような気がする。また、石垣の斜面で働き蟻を見かける。口に餌を加えて巣の方に急いでいた。斜面を自由自在に動いていた。蟻の体力は凄さに改めて感動させられた。この姿は本年 3 月 10 日（金）他界した父親の姿を思い出させてくれた。親父は病気をすることなく一生懸命に働き榎原家を盛り立てて頂いた。折りしも明日は”父の日”である。10 時 40 分、JR 東日本梁川（やながわ）変電所前を通過。10 時 50 分、梁川橋を通過。無人駅である梁川駅という看板が印象的な梁川駅には 11 時 8 分に到着。この駅は甲州街道から 20m 位上がった高台にあった。坂道の上の空き地ではマスクを被り除草作業をしていた。

11時48分、桂川を跨る小呼戸橋（こよひと）を通過。11時50分、大呼戸橋（およひと）を通過。この橋を渡ると大月市から上野原市となる。地図では上野原町とあったが、最近市制をひいたのであろう。12時のサイレンを聞くや否や四方津（しおつ）駅に到着。この駅の手前で鉄道が猿橋駅や鳥沢駅と同様、再度右側になる。この駅にはコモアしおつ駅があり、談合坂サービスエリアに向かうリニアモーターカーが山斜面に向かって続いていた。中央高速の談合坂サービスエリアまで続いているのであろうか。駅に入り写真を通る。私がこの駅に入るや否や上り方面のドアが開く。ドアは1m位であった。



四方津駅



コモアしおつ駅

昼食時間帯に差し掛かり適当な食事処を探したがなかなか見つからず。やっと13時5分、隣がパチンコ屋である中華スバルを見つけ駆け込む。この店で20分位休息してから、上野原駅を目指す。途中、道路をJR線が通過する。この駅は甲州街道から少し離れており、上野原高校入口から右折して上野原駅を目指す。交差点のところには帝京科学大学の看板があった。300m進んだところ、前方上にJR線を見かけたので道を誤ったのではないかと思い地図を再確認する。引き返そうとしたところ、若い二人連れを見かけたので上野原駅を尋ねる。「僕達もこれから上野原駅に向かう途中です。」とのことで、若者に追従させてもらう。



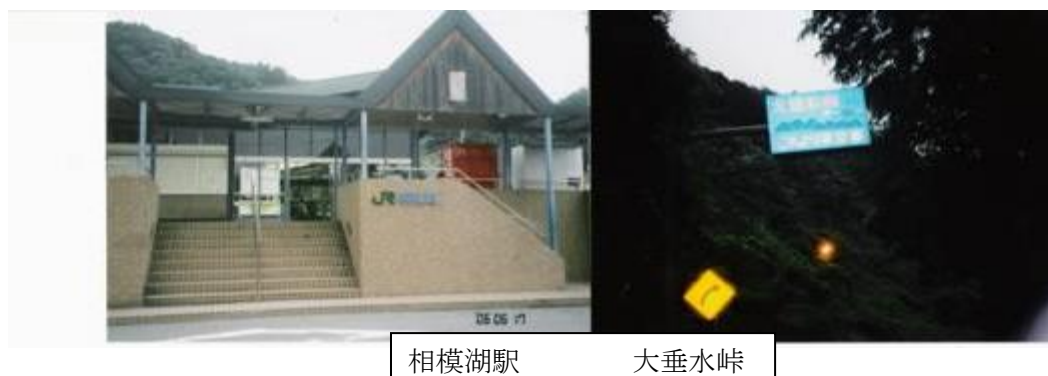
上野原駅



藤野駅

道はJR線を潜ったあと、川を越え、鉄道のトンネルを再度越えJR線の右側に戻る。鉄道に沿うアップダウンのある小道を歩き、上野原駅には13時50分到着。小道から15m位下にホームが見える。沢山の学生がホームで電車を待っていた。上野原駅は高台にあり、そこから5～6km先の相模湖が一望できた。しかし、この駅は甲州街道に続く県道から遥

か下にあり、甲州街道に出るのに 1km 位山登りを要した。途中、中央高速を横切り甲州街道に戻る。14 時 30 分、赤い橋桁の中央高速道路を潜る。鉄道が目の前に現れる。上り下り分離したトンネルに出くわす。偶然にも下り電車が右側トンネルから顔を出す。14 時 37 分、神奈川県藤野町に入る。15 時 20 分、鉄道が右側から左となる。この鉄道の交差だけは本日唯一掌握できていない出来事だった。15 時 20 分、藤野駅に到着。駅前の公衆電話では英米系の女学生が電話をしていた。15 時 37 分、沢井川を跨る吉野橋を通過。相模湖に続くこの川では人工の道路があった。道路を修復するシャベルカーがあった。川では釣りボートを数艘見かける。相模湖に沿って甲州街道が続く。16 時 10 分、橋沢隧道に差し掛かる。ここから相模湖町となる。途中何回も相模湖駅を通り過ぎたのではないかと不安の道中であつたが、民家が多くなり、セブンイレブンが前方に見えてくる。ここで初めて相模湖駅を通り過ぎてないことを確信する。



16 時 35 分、やっとのことで相模湖駅に到着する。駅前にはお土産屋が数軒あつた。観光客の姿も多数見かける。この駅で、営業距離 9.5Km 先の高尾駅に挑戦するかここでアップするか迷うが、夏至に近いこともあり思い切って高尾駅への挑戦を決意する。

相模湖駅から駅前通りを歩き甲州街道に戻る。道路標識には高尾まで 14Km、八王子まで 20Km とあつた。この道路標識を見て、自分の目算 (11Km) と大きく乖離があり、瞬間的に引き返そうとも考えたが、しかし、ここからの歩きがウォーキングの醍醐味と自分に言い聞かせ邁進する。ここからは日本橋までの距離を示した標識杭が私の羅針盤となる。日本橋まで 64Km とあつた。「この標識が 50Km になる頃高尾到着になる」ことを目標に頑張る。空は明るいのにもかかわらず、涙程度の雨を感じる。ここでも無理したかもしれないと後悔の念がでる。16 時 55 分、ウォークマンが電池切れとなる。何時もであれば予備の電池を持参するが、本日は持参していない。または、ラジオに切り替えてナイターを楽しむが、しかし、今の巨人の戦いぶりはふがいなくストレスがたまる。それでラジオを持参しないわけである。17 時 2 分、底沢橋、17 時 37 分、日本橋まで 60Km 地点の宮の台 1 号橋を通過する。1 Km あるいは 100m ごとにある一里塚を頼りに現在の位置関係を確認しながら進む。18 時、やっと標高 392m の大垂水峠 (58.3Km 地点) に到着する。この峠を境に神奈川県から東京都となる。18 時 14 分、東寒葉橋 (かんば) を通過。この橋から

100m位道路から3m位上がった歩道に移り進む。57.2Km地点の水野橋を18時17分通過。18時24分、神子橋（みこ）に差し掛かる。この橋近郊で辺りが明るくなった感じがする。18時26分、56.4Kmの地点で70歳位の年輩男性の通行人とすれちがいほっとする。上り下りの競輪風の人達とも多数すれちがう。56Km地点でホテル旅路あり。18時32分、西大平橋と東大平橋あり。18時35分、本尾花橋に到達。

18時40分、囲炉裏焼き・田舎料理の高尾山ごん助店を通過。飾り火と恰幅の親父石造が印象的であった。少し行った先に馬場タイヤ商会があり。直径1.6m位のタイヤが幾つも高々と積み上げられていた。18時45分、西柏木橋・東柏木橋を通過したところで、民家からいきなり犬の鳴き声を聞き、安堵感が沸いてくる。辺りは少しずつ暗くなり始める。18時50分、自転車に乗った70歳位の年輩に、「ご苦労さん。雨が少し降って来たね。」と言ってすれちがって行く。18時55分、西山下橋・東山下橋近郊の看板に高尾山口駅まで2.3Kmとあった。これで20時位に高尾駅に到着するであろうと確信がもてた。19時2分、梅の木橋（54Km地点）、19時8分、込縄橋、それから19時10分案内橋を通過する。辺りはいつの間にか暗くなっていた。甲州街道に沿い、気持ちよいせせらぎの川の音をきく。今日初めて夏を感じる。川に木々から虫の鳴き声を聞く。ほたる橋がこの川を横切っていた。ほたるがこの近郊でいるのだろう。京王線高尾山口駅前を19時25分通過。この駅からは京王線踏破の際学習済みのコースとなった。19時32分、落合橋を通過。19時40分上栲田橋（かみくぬぎだ）を通過。右側から京王線、前方道路上にあるJR線を共に上り電車が通過して行く。この近郊で幹事会メンバーの矢野さんから携帯に電話あり。コンビニポプラに入り菓子パンを買う。雨を忘れていたが、この近郊から雨が気になるようになる。20時高尾駅に到着する。



高尾駅

西八王子駅

本日、久しぶりの30Kmを突破し、甲府から高尾までの81kmを3回でクリアできた。本日の営業距離は34.7Kmであるが、実際道路上では45kmは歩いたであろう。体全体に満足感を覚えた。特に相模湖駅から高尾駅までの14Kmの道中はスリルがあり最高の気分を味わうことができた。このシリーズで印象的なことは、笹子峠と大垂水峠越えである。河口湖や相模湖もよかったし、桃や葡萄現場にも立ち会うこともできた。それから最新のリニアモーターカー現場も見ることができた。甲州街道にはトンネルが殆どなかったこと

が意外であった。自宅には 21 時 20 分到着。万歩計は 91,294 歩だった。長男夫婦から父の日プレゼントをもらい最高の日となった。

第 4 節 6 月 24 日（土）：高尾～八王子

高尾(9:00)～西八王子(10:00)～八王子(10:45)

中央線の締めは、先週に引き続き 6 月 24 日（土）実施。本日は午後から高校同窓の幹事会があり、時間を有意義に活用するため急遽思いついた。高尾＝八王子間は数年前から踏破したいと考えていたが、距離も 5.7Km と短いからいつでもできると思い本日となった。自宅を 8 時前に出、八王子で運良くホリデー快速河口湖行きに乗ることができ、ゆったりとした気分で高尾駅まで移動することができた。高尾駅には 9 時 10 分到着。

JR 高尾駅には 2～3 年前、桜鑑賞と多摩御陵訪問のため来たことがある。ただし、通過は何度もある。櫛並木が西八王子先の追分町交差点まで続いており、夏の日差しを和らいでくれた。途中多摩御陵（9 時 28 分）が櫛並木の左手側に見える。共立女子学園、創価大学、工学院大学行きのバスとすれちがう。高尾警察署の近くの広場では、小学生がブラスバンドの稽古をしていた。西八王子駅には予定通り、10 時到着。10 時 7 分、国道 20 号線に戻るや消防車と対面する。その先に追分町交差点があり、涼しい櫛並木が終了。右手に移動し甲州街道から、西放射線ユーロードに方向転換し、八王子商店街を散策する。5m 毎の昆虫や植物も模様にした歩道は心を和ませてくれた。それから七夕祭りの飾りがとても印象的だった。八王子駅には 10 時 45 分到着。万歩計は 13,136 歩だった。駅構内の蕎麦屋で昼食を摂り、飯田橋の幹事会会場に向かう。



八王子商店街

八王子駅